



イノベーション = 知 × 起業家精神  
サイエンス・テクノロジー

## GTEPについて

### GTEPの目的

イノベーションを起動・推進できる人材の必要性が現代社会で、そして国内外の有力企業で、ますます強く認識されてきています。GTEPでは、イノベーション=知(サイエンス・テクノロジー)×起業家精神と捉え、講義と実践を組み合わせたプログラムを通じて、イノベーションの核となる人材を育成します。

## GTEPが目指す人材像

- 1. 基礎知識**  
グローバルな視野で「経営を理解する技術者」と「技術を理解し新事業を創造できる起業家・事業家」になるための基礎知識を身につけた人材
- 2. 発想と価値観**  
異なる専門分野の研究者、社会人、ベンチャーキャピタリスト、マーケターとの協業・ディスカッションを通じた、新たな発想と価値観を身につけた人材
- 3. 事業化手法**  
ペルソナ手法、MVPの特定、ビジネスモデルの立案、パートナーや顧客からのフィードバックによる検証など、具体的な事業化手法を身につけた人材
- 4. 事業ローンチ能力**  
事業性を厳しく評価する目を持ち、実際に事業をローンチできる人材

## I GTEPのプログラム内容

下記の5つのモジュールのプログラムの履修を通じて、GTEPの目指す人材の育成を図ります。

### ① モジュールA-1 集中セミナー

外部機関と連携し、海外の大学から著名な教員を招聘して、週末を活用した集合研修方式のセミナーを年2回程度実施します。応募対象者は、理系および文系の大学院生・若手研究者(社会人含む)です。

### ② モジュールA-2 海外起業研修

世界的に成功するベンチャーを数多く生み出している海外の起業エコシステム拠点にて、現地大学、VC、スタートアップ等のエコシステム構成員へのビジットとワークショップ等を組み合わせた教育プログラムを実施します。

### ③ モジュールB 事業化実践教育

米国NSF(National Science Foundation)の技術商業化プログラムであるiCORPをベンチマークとしつつ、理系の院生・ポスドク等の人材に、ビジネススクールの学生等を組み合わせたチームを組成し、テクノロジー・ベンチャーのビジョン創出、ビジネスモデルの仮説構築と実証、顧客開発およびプロトタイピング、パートナーリング・資金調達までの起業プロセスを包括的に体験するプログラムを提供します。

### ④ モジュールC 事業化実践教育(健康産業・医療機器)

健康産業・医療機器における事業創造に特化し、外部とのインタラクションを通じてビジネスモデル仮説を進化させる実践的教育プログラムを提供します。

モジュールCでは、医学研究科「医学領域」産学連携機構が、医学URA室および産官学連携本部/知財・ライセンス化部門と連携して、参加者の支援を行います。

健康産業・医療機器分野に必要な基礎知識の習得については、メンタリング、あるいは事業化プラットフォームにおける講義やコーチングにより適時カバーします。

### ⑤ モジュールD 事業化プラットフォーム

起業エコシステムの確立のために物理的プラットフォームと、人的プラットフォームを提供します。

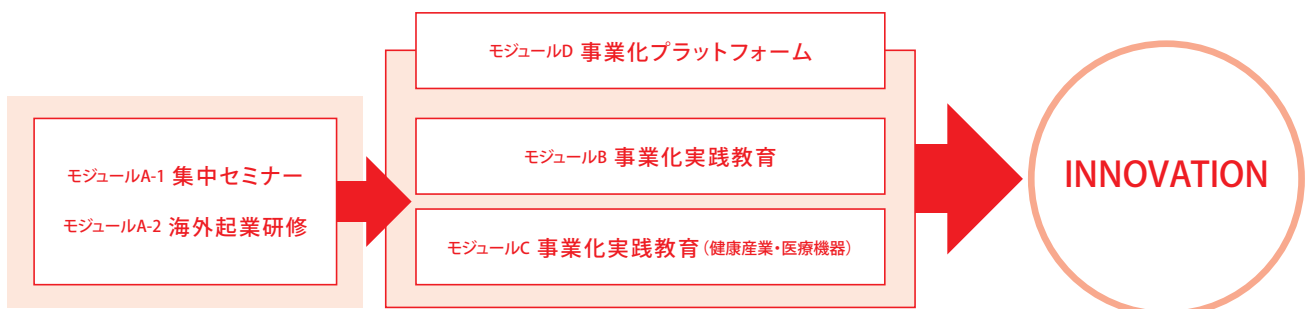
#### 【物理的プラットフォーム】

デザイン思考を実践できる場として、3Dプリンター、レーザーカッターなど、グローバルスタンダードのデジタル・ファブリケーションツールを揃えたスタジオ(Entrepreneurs platform)を整備し、ラピッド・プロトタイピング等のニーズに対応します。

#### 【人的プラットフォーム】

学内外の起業経験者、企業の新事業開発担当者、VCist等のメンターネットワークを整備し、学生、研究者からの起業に関する相談に対してメンタリングを行うと共に、起業、イノベーション等に関わる様々なバックグラウンドの専門家の講演会やセミナー等を行い、起業を目指す人々のネットワークを支援します。

## I GTEPを構成する5つのモジュール



## 平成27年度のGTEP活動報告

### モジュールA-1 集中セミナー

2015年度は、「イノベーション・マネジメント」と「アントレプレナーシップ」をテーマに、全2回の集中セミナーを開催しました。9月に行われた集中セミナー（前半）は3講座を1泊2日で、12月に行われた集中セミナー（後半）は、4講座を1泊2日で行いました。各セミナーの開講講座は以下の通りです。

#### 集中セミナー前半開講講座

- 『イノベーション・エコシステム / Innovation Ecosystem』  
梶山泰生 教授 (京都大学経営管理大学院)
- 『デザイン思考 / Design Thinking』  
Dr. Karen Miller (University of Cambridge)
- 『オープン・イノベーション / Open Innovation』  
Dr. Tim Minshall (University of Cambridge)

#### 集中セミナー後半開講講座

- 『アントレプレナーシップ入門 / Basics of Entrepreneurship』  
Dr. Hugh Whittaker (University of Oxford)
- 『スタートアップ・プランニング / Planning your start-up』  
Dr. Mark Kierlanczyk (Chief Business Intelligence Officer for PetPlus.com)
- 『リーダーシップ / Leadership』  
Dr. Sanford M. Jacoby (Anderson School of Management, UCLA)
- 『事業創成 / Business Development』  
孫徳峰 特定助教 (京都大学経営管理大学院)



### モジュールA-2 海外起業研修

2015年度は、スウェーデンのルンド大学、イギリスのケンブリッジ大学を訪問しました。参加者は、ルンド大学のSten K. Johnson Centre for Entrepreneurshipやケンブリッジ大学のInstitute for Manufacturingを始めとする教育施設やインキュベーション施設などを見学すると共に、現地の教授や専門家、大学発ベンチャーなどから講義や説明を受け、活発な議論を交わしました。また参加者は5チームに分かれ、ベンチャーキャピタリストからのメンタリングを受けながら、4日間に渡り関西TLOおよび芝蘭会から提供された技術シーズに基づくビジネスモデルの構築に取り組みました。最終日にはケンブリッジの教員や学生に構築したビジネスモデルを発表し、評価していただきました。

【日程】 2015年9月6日(日)～9/13(日)、14日(月)

【参加人数】 学生17名、社会人4名

【訪問先】 Sten K. Johnson Centre for Entrepreneurship / Ideon Agora / Venture lab / Medicon Village / Institute for Manufacturing



### モジュールB/C 事業化実践教育

2015年度のモジュールBCには、文系理系院生、研究者、社会人からなる31名が参加しました。参加者は約5ヶ月の期間中、TBWA\、HAKUHODO\、QUANTUMから講義を受け、デザイン思考、リーンキャンパス、エスノグラフィー、プロトタイピング等について学習すると共に、7チームに分かれ、IT、ヘルスケア、アート、音楽、食品と様々な分野の技術シーズを基にしたビジネスモデルの構築に取り組みました。中間スクリーニングでは、7チームから事業性の高い4チームに絞り込まれ、その後は弁護士、医療機器開発の専門家(元FDA医療機器審査官)、ベンチャーキャピタリスト、経営コンサルタント等がメンターとして各チームに付き、3Dプリンターやレーザーカッター等を使ったプロトタイピングでニーズの検証を行い、ビジネスモデルの更なるブラッシュアップに励みました。デモデイでは一般公開でビジネスモデルの最終プレゼンテーションをし、ベンチャーに関わる専門家の審査を受けて、優秀賞、準優秀賞が選出されました。優秀賞に輝いたチーム「e工房」は一人でギターを楽しむ大人を対象に、音楽アプリとセッションができる演奏ロボットを開発し、デモデイではメンバーの一人が実際に開発したロボットとのセッションを披露してくれました。「e工房」は、顧客へのヒアリングによるニーズ検証、弁護士等、専門家への相談による特許や著作権など法律問題への対応、ワーキング・プロトタイプを作成、そして何よりも自分たちのビジネスへの熱い思いが評価されました。今後は起業準備に取りかかります。



### モジュールD 事業化プラットフォーム

2015年7月8日にプロトタイピング等のニーズに対応すべくファブリケーション・スタジオ「Entrepreneurs platform」を開所しました。GTEP受講生は、3Dプリンターを始めとする種々の工作機械を24時間いつでも利用することができます。また以下のような講演会やセミナー、ワークショップ、ネットワーキングイベントを開催しました。

- 工作機械初心者のために工作機械体験セミナー(3回)
- 京大OBとの座談会(3回)
- 公開講演会
- 「会社を興すチャレンジと喜び」  
森敬太氏(サンバイオ株式会社 代表取締役社長)
- 「起業とアプリビジネスの法務戦略」  
山本俊氏(GVA法律事務所 代表弁護士)
- Makers Boot Campによるものづくりベンチャーの量産試作をテーマにしたセミナー(6回)

さらに、起業を目指す学生たちに対して、起業家やエンジェル投資家による個別のメンタリングを実施しました。



# 実施体制

定期的な情報交換を実施する  
連絡協議会



## Ⅰ 関連機関・関連企業一覧

主催 京都大学  
京都大学産官学連携本部IMS研究部門  
京都大学経営管理大学院  
京都大学大学院医学研究科・医学部  
同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター  
後援 京都市

協力 TBWA\HAKUHODO\QUANTUM  
株式会社産学連携研究所  
工業技術研究院 (ITRI, Industrial Technology Research Institute)  
ファウンダー・インスティテュート関西  
公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM)

**EDGE PROGRAM** ※本プログラムは文部科学省グローバルアントレプレナー  
育成促進事業 (EDGEプログラム) の助成を受けて行っています。

お問い合わせ

京都大学 経営管理大学院  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
info-gtep@saci.kyoto-u.ac.jp



<http://www.gsm.kyoto-u.ac.jp/gtep/>